

# ルーマニア

2021年11月15日

海外調査部・ブカレスト事務所

2020年の貿易は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、輸出額は前年比9.9%減、輸入額は6.6%減と、ともに減少した。輸出額の減少の方が大きく、貿易赤字は7年連続の拡大となった。対内直接投資はエネルギー、通信関連、不動産の案件が目立った。対日貿易は、たばこ製品が前年から4.4倍に増えたことで、輸出が64.7%増と急増し、黒字に転じた。2020年の日本企業による投資は低調だった。

## ■貿易赤字は慢性化、干ばつの影響で穀物の輸出が減少

2020年の貿易は、輸出が前年比9.9%減の621億7,600万ユーロ、輸入が6.6%減の805億6,400万ユーロとなり、ともに減少した。貿易赤字は183億8,800万ユーロと7年連続で拡大し、2009年以降最大となった。

輸出を品目別にみると、ほぼ全ての品目で前年から減少した。最大の輸出品目である機械・電気機器（構成比29.9%）は前年比7.4%減となった。中でも、原子炉・ボイラー・機械類（11.3%）が11.2%減となったことが響いた。次に輸出額が大きい輸送用機器（18.8%）も7.7%減となった。そのうち、自動車・トラクター用部品（8.7%）が13.0%減と縮小し、また自動車メーカーが2020年春に約7週間操業停止したことも影響して、乗用車（7.6%）が3.4%減と落ち込んだ。農業分野においては、2020年に深刻な干ばつに見舞われた結果、

穀物生産量が前年から半減し、穀物（3.5%）の輸出が16.2%減と大幅に減少したため、植物性生産品（5.4%）が13.5%減となった。そのほか、原油価格の下落の影響も受けた鉱物性製品（2.6%）の41.1%減が輸出額全体を押し下げた。

輸出を国・地域別にみると、全体の7割強を占めるEU（構成比73.6%）は前年比8.9%減となった。最大の輸出先であるドイツ（22.8%）は、主力輸出品の機械・電気機器（41.9%）の7.7%減、輸送用機器（26.5%）の5.9%減と振るわず、全体では8.7%減となった。そのほか、イタリア（10.7%）が14.1%減、フラン

表1 ルーマニアの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・電気機器	20,110	18,616	29.9	△7.4	23,426	22,502	27.9	△3.9
原子炉・ボイラー・機械類	7,937	7,051	11.3	△11.2	10,354	9,930	12.3	△4.1
輸送用機器	12,682	11,702	18.8	△7.7	8,982	7,640	9.5	△14.9
自動車・トラクター用部品	6,196	5,388	8.7	△13.0	3,736	3,390	4.2	△9.3
乗用車	4,881	4,717	7.6	△3.4	2,618	2,043	2.5	△22.0
卑金属・同製品	5,944	5,270	8.5	△11.3	8,721	7,974	9.9	△8.6
鉄鋼	1,926	1,708	2.7	△11.3	2,792	2,513	3.1	△10.0
鉄鋼製品	2,075	1,749	2.8	△15.7	2,732	2,470	3.1	△9.6
プラスチック・ゴム製品	3,946	3,634	5.8	△7.9	5,983	5,578	6.9	△6.8
プラスチック・プラスチック製品	1,636	1,598	2.6	△2.4	4,379	4,154	5.2	△5.1
ゴム・ゴム製品	2,310	2,036	3.3	△11.9	1,605	1,424	1.8	△11.3
植物性生産品	3,876	3,352	5.4	△13.5	2,516	2,924	3.6	16.2
穀物	2,585	2,167	3.5	△16.2	398	704	0.9	77.2
種子・油性果実	1,083	959	1.5	△11.5	398	462	0.6	16.2
繊維	3,797	3,125	5.0	△17.7	4,990	4,726	5.9	△5.3
衣料品(編み物以外)	1,744	1,276	2.1	△26.8	930	870	1.1	△6.4
調整食料品、飲料、たばこ	2,156	2,603	4.2	20.7	3,762	3,811	4.7	1.3
たばこ・たばこ製品	947	1,377	2.2	45.3	364	356	0.4	△2.4
雑製品	2,951	2,515	4.0	△14.7	2,194	2,099	2.6	△4.4
化学品	2,368	2,288	3.7	△3.4	8,520	9,083	11.3	6.6
医薬品	829	876	1.4	5.6	3,405	3,718	4.6	9.2
精油(エッセンシャルオイル)	393	358	0.6	△9.0	843	850	1.1	0.8
鉱物性製品	2,744	1,617	2.6	△41.1	7,132	4,678	5.8	△34.4
鉱物燃料、鉱油	2,608	1,508	2.4	△42.2	6,618	4,236	5.3	△36.0
木材・木材製品(家具を除く)	1,606	1,622	2.6	1.0	765	754	0.9	△1.5
合計(その他含む)	68,998	62,176	100.0	△9.9	86,297	80,564	100.0	△6.6

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
[出所] ルーマニア国家統計局

ス(6.7%)が12.3%減といずれも前年から2桁減となった。

EU域外で最大の輸出先であるトルコ(3.4%)は6.0%減となり、前年の12.9%増から減少に転じた。次いで英国(3.3%)が19.6%減、米国(1.7%)が17.9%減と縮小した。一方、中国(1.3%)は木材・木炭の11.5%増、原子炉・ボイラー・機械類の26.8%増が牽引し、9.4%増となった。

### ■輸入は穀物と医薬品、国別では中国・米国が増加

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械・電気機器(構成比27.9%)は前年比3.9%減となった。輸送用機器(9.5%)は、乗用車(2.5%)の22.0%減が影響し、14.9%減と大幅に減少した。一方、化学品(11.3%)は、医薬品(4.6%)の9.2%増が牽引し、6.6%増と堅調に増加した。そのほか、植物性生産品(3.6%)が16.2%増と伸びた。中でも、干ばつの影響を受けた穀物(0.9%)が77.2%増と大きく伸び、中でもハンガリーからの輸入が2.8倍に拡大した。輸出同様、鉱物性製品(5.8%)の34.4%減が輸入全体を押し下げた。

輸入を国・地域別にみると、全体の7割強を占めるEU(構成比73.5%)が前年比5.6%減だった。すべてのEU加盟国からの輸入が減少し、最大の輸入元であるドイツ(20.8%)は3.9%減、続くイタリア(8.9%)は9.0%減となった。

EU域外では、最大の輸入元である中国(6.3%)が11.5%増、米国(1.1%)が10.4%増とともに前年から2桁増加した。中国からの輸入は機械・電気機器の9.2%増、原子炉・ボイラー・機械類の10.4%増が牽引した。一方、主要产品目である鉱物性製品の輸入が大幅に減少したロシア(2.3%)とカザフスタン(1.4%)はそれぞれ41.3%減、33.0%減と大幅に減少した。

表2 ルーマニアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2019年	2020年			2019年	2020年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	50,256	45,779	73.6	△ 8.9	62,750	59,245	73.5	△ 5.6
ユーロ圏	38,755	35,098	56.4	△ 9.4	45,304	42,266	52.5	△ 6.7
ドイツ	15,502	14,147	22.8	△ 8.7	17,403	16,730	20.8	△ 3.9
イタリア	7,768	6,671	10.7	△ 14.1	7,890	7,182	8.9	△ 9.0
フランス	4,755	4,173	6.7	△ 12.3	4,244	3,725	4.6	△ 12.2
オランダ	2,113	2,201	3.5	4.2	3,383	3,123	3.9	△ 7.7
スペイン	2,101	1,836	3.0	△ 12.6	2,412	1,993	2.5	△ 17.3
オーストリア	1,520	1,475	2.4	△ 2.9	2,701	2,567	3.2	△ 5.0
スロバキア	1,457	1,337	2.2	△ 8.2	1,941	1,839	2.3	△ 5.2
ベルギー	1,234	1,224	2.0	△ 0.8	2,057	2,005	2.5	△ 2.5
非ユーロ圏	11,501	10,682	17.2	△ 7.1	17,446	16,979	21.1	△ 2.7
ハンガリー	3,325	3,098	5.0	△ 6.8	6,092	5,895	7.3	△ 3.2
ポーランド	2,432	2,317	3.7	△ 4.7	5,161	4,959	6.2	△ 3.9
ブルガリア	2,425	2,262	3.6	△ 6.7	2,541	2,506	3.1	△ 1.4
チェコ	2,165	1,922	3.1	△ 11.2	2,632	2,525	3.1	△ 4.1
英国	2,576	2,072	3.3	△ 19.6	1,651	1,397	1.7	△ 15.4
トルコ	2,234	2,100	3.4	△ 6.0	3,853	3,517	4.4	△ 8.7
米国	1,305	1,072	1.7	△ 17.9	807	891	1.1	10.4
モルドバ	1,237	1,034	1.7	△ 16.4	742	683	0.8	△ 7.9
中国	758	829	1.3	9.4	4,542	5,064	6.3	11.5
ロシア	1,019	821	1.3	△ 19.4	3,102	1,821	2.3	△ 41.3
セルビア	883	711	1.1	△ 19.5	811	749	0.9	△ 7.7
ウクライナ	616	590	0.9	△ 4.4	931	932	1.2	0.1
日本	272	448	0.7	64.7	300	297	0.4	△ 0.9
サウジアラビア	251	395	0.6	57.8	11	11	0.0	5.3
エジプト	695	394	0.6	△ 43.3	114	109	0.1	△ 3.8
カザフスタン	66	49	0.1	△ 25.0	1,669	1,118	1.4	△ 33.0
合計(その他含む)	68,998	62,176	100.0	△ 9.9	86,297	80,564	100.0	△ 6.6

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ルーマニア国家統計局

2021年1～5月の貿易は、輸出が前年同期比26.0%増の299億2,670万ユーロ、輸入が24.6%増の387億4,260万ユーロとともに2桁増となった。貿易赤字は14億5,690万ユーロ拡大し、88億1,590万ユーロだった。品目別では、輸出入ともに主要产品目である機械・電気機器で輸出が33.8%増、輸入が25.9%増、輸送用機器で輸出が26.9%増、輸入が40.1%増となり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う自動車メーカーの生産停止や営業店舗閉鎖などの影響を受けた前年同期から、輸出入ともに新型コロナウイルス禍以前の水準に回復した。

## ■対内直接投資は大幅に減少

ルーマニア国立銀行によると、2020年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は20億3,300万ユーロとなり、前年比60.7%減と落ち込んだ。2020年末時点での対内直接投資残高は、876億2,600万ユーロだった。同行とルーマニア国家統計局は2021年8月時点で2020年の国・地域別、業種別の詳細を発表していない。

2019年末時点の対内直接投資残高883億400万ユーロの国・地域内訳をみると、上位5カ国はオランダ（構成比23.2%）、オーストリア（12.6%）、ドイツ（12.3%）、イタリア（8.2%）、キプロス（6.2%）だった。日本からの対内直接投資残高は4億2,300万ユーロ（0.5%）、前年比100万ユーロ減となった。

経済紙ジアルル・フィナンチアルが2020年11月に発行した「Top 2020 Tranzactii」によると、2020年のM&A案件（対内間接投資、国内投資案件も含む）は前年の139件に対して、11月10日時点まででは95件だった。

2020年の主な対内直接投資案件はエネルギー、通信関連、不動産が目立った。エネルギー分野では、マッコリー・インフラストラクチャー・アンド・リアル・アセット（MIRA、オーストラリア）が管理するファンドは2020年10月、ČEZグループ（チェコ）がルーマニア国内に保有する配電網、風力発電施設などの資産を総額約246億コルナ（約1,230億円、1コルナ＝約5円）で買収することに

表3 ルーマニアの主な対内直接投資案件（2020年～2021年3月）

＜M&A以外＞						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
エネルギー	アレリオン・クリーン・パワー	イタリア	2021年2月	非表示	ルーマニアのPV ProjectROと提携契約を結び、太陽光発電所の開発を発表。約200MWの電力供給を目指す。2021年上期末までに、総設備電力が約33MWのプラント数カ所を稼働予定。	
不動産	VGP	ベルギー	2020年8月 2020年11月 2021年3月	非公表	2020年8月に西部のアラド市に新ビジネスパークの開発を、同年11月にブラショフ市に新しいマルチテナント型ビジネスパークの開発を発表。どちらも2021年に完成予定。2021年3月には、ブカレストに物流施設の建設も発表。	
不動産	スコリア	ポーランド	2020年11月	非公表	ルーマニアの中小都市に2022年までに「FunshopPark」ブランドで6つの商業施設を設立すると発表。地域社会のニーズに合わせたコンパクトな施設を建設予定。	
製造	デロンギ・グループ	イタリア	2020年2月	非公表	家電メーカーのデロンギはルーマニアの製造拠点を購入し、生産を拡大することを発表。	
自動車	フォード	米国	2020年7月	3,000万ドル	2020年7月から再開した工場ラインの3シフトに加えて、3,000万ドルの追加投資を行い、最新のプレスラインを設置することを発表。	

  

＜M&A＞							
業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
電力	CEZルーマニア	マッコリー・インフラストラクチャー・アンド・リアル・アセット	オーストラリア		2020年10月	246億コルナ	Macquarie Group Ltdの一部門であるオーストラリアのMacquarieInfrastructure & Real Assets Pty Ltd（資産運用会社）は、ルーマニアにおいてチェコ電力CEZが保有する陸上風力発電をはじめとする脱炭素に向けた発電施設を取得することを、CEZと合意したと発表した。
不動産	NEPIロックキャッスル	アフィ・ヨーロッパ	オランダ		2020年8月	2億9,400万ユーロ	ブカレスト最大のショッピングモールを運営するアフィ・コトロセニのオーナー、アフィ・ヨーロッパ（オランダ）は、中東欧でショッピングモールを手掛けるネビ・ロックキャッスル（マン島）からオフィスビルプロジェクトのポートフォリオ4件、2億9,400万ユーロの買収を完了した。
通信	テレコム・ルーマニア・コミュニケーションズ	オレンジ・ルーマニア	フランス		2020年11月	2億6,800万ユーロ	オレンジ・ルーマニアは、ギリシャ通信大手のOTEから、テレコム・ルーマニア・コミュニケーションズの株式54%を取得することで合意したと発表した。
不動産	スカンスカ	エス・アイ・エム・エム・オー	オーストリア		2020年12月	9,700万ユーロ	SIMMO AGは、ストックホルムを拠点とする住宅建設業者であるSkanskaAbがルーマニアに所有する2つのオフィスビルの買収を完了した。
製造	テラプラスト・グループ	キングスパン・グループ	アイルランド		2021年2月	3億7,300万レイ	アイルランドを拠点とする建材会社キングスパン・グループはテラプラスト・グループ鉄鋼部門の買収を完了した。
ハイテク	メトロ・システムズ・ルーマニア メトロノーム（ドイツ）	ウイプロ	インド		2020年12月	非公表	情報技術分野のグローバル企業であるウイプロリミテッドは、ドイツのMETROグループのIT部門であるメトロ・システムズ・ルーマニアと事業提携することを発表。最初の5年間で約7億ドルの取引を見込んでいる。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

同グループと合意した。通信大手オレンジ（フランス）のルーマニア子会社は2020年11月、同業のOTE（ギリシャ）が保有していたテレコム・ルーマニア・コミュニケーションズの株式54%を2億6,800万ユーロで取得することにOTEと合意した。

ルーマニア国立銀行によると、2020年の対外直接投資は1億7,700万ユーロ（国際収支ベース、ネット、フロー）の引き揚げ超過となった。2020年末時点での対外直接投資残高は、22億2,000万ユーロだった。

**表4 ルーマニアの主な対外直接投資案件（2020年）**

<M&A以外> 対象案件なし

買収企業		被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍				
パバル・ホールディング	飲料	ブルカリ・ワイナリー	キプロス	2020年3月	非公表	パバル・ホールディングがブルカリ・ワイナリーの株式5%を取得したと発表。	
アンバー・ストユーディオ	ソフトウェア、ゲーム	カラオクルタ・サビ	メキシコ	2020年2月	非公表	ルーマニアのゲーム開発企業はグアダハラを拠点とするゲーム開発者であるカラオクルタ・サビの全株式資本を取得したと発表。	
OMVペトロム	エネルギー	OMVオフショアブルガリア	ブルガリア	2020年8月	非公表	オーストリアの石油大手OMVのルーマニア子会社は、OMVブルガリアオフショアの買収が完了したと発表。買収により、42.86%のハンアスバルフ探鉱権益を取得。	

〔出所〕各社発表および報道などから作成

## ■たばこ製品の輸出増により対日貿易収支は黒字に転換

2020年の対日貿易は、輸出が前年比64.7%増の4億4,800万ユーロ、輸入が0.9%減の2億9,700万ユーロとなり、前年に赤字だった対日貿易収支が1億5,100万ユーロの黒字に転じた。

対日輸出を主要品目別にみると、たばこ・たばこ製品（構成比57.8%）が前年の4.4倍に増加し、木材・木炭を抜いて最大の輸出品目となった。一方、木材・木炭（29.9%）は前年比2.6%減となった。ルーマニア政府は2020年5月、2021年以降10年間にわたって、EU域外への丸太の輸出を禁止する法律を定めたため、今後増加に転じる可能性は少ないとみられる。また、天然蜂蜜（0.4%）は27.0%増加し、前年に引き続きEU域外では蜂蜜の最大の輸出相手先となった。

対日輸入を主要品目別にみると、最大の輸入品目である輸送用機器（構成比24.8%）が前年比4.5%増と堅調に増加した。そのうち、乗用車（18.9%）が12.1%増と大きく伸びた。そのほか、鉄鋼（7.2%）が2.4倍と拡大した。一方、電気機械・電気機器（16.5%）が24.8%減と落ち込んだ。

**表5 ルーマニアの対日主要品目別輸出入（通関ベース）**

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
たばこ・たばこ製品	59	259	57.8	339.7	輸送用機器	71	74	24.8	4.5
木材・木炭	137	134	29.9	△ 2.6	乗用車	50	56	18.9	12.1
光学機器・精密機器	16	15	3.3	△ 7.7	自動車・トラクター用部品	14	14	4.8	0.5
電気機械・電気機器	6	8	1.9	44.1	原子炉・ボイラー・機械類	59	61	20.5	3.8
衣類・衣類付属品（編んでいない物）	6	6	1.3	1.5	電気機械・電気機器	65	49	16.5	△ 24.8
ゴム・ゴム製品	5	5	1.1	0.5	鉄鋼	9	21	7.2	135.2
輸送用機器	5	3	0.7	△ 39.2	鉄鋼製品	20	20	6.8	3.5
自動車・トラクター用部品	4	2	0.5	△ 43.9	プラスチック・プラスチック製品	14	14	4.6	△ 5.6
原子炉・ボイラー・機械類	4	3	0.7	△ 26.2	ゴム・ゴム製品	14	10	3.3	△ 28.9
衣類・衣類付属品（編み物）	2	2	0.5	△ 2.4	光学機器・精密機器	8	9	3.0	11.0
乳製品、卵、蜂蜜、動物由来の食用製品	1	2	0.4	26.7	卑金属のその他の物品	8	5	1.8	△ 34.4
天然蜂蜜	1	2	0.4	27.0	有機化学薬品	4	5	1.7	45.5
プラスチック・プラスチック製品	3	2	0.4	△ 42.0	その他の化学製品	5	4	1.5	△ 12.8
家具、その他	3	1	0.3	△ 49.3	人造繊維の短繊維	2	3	1.0	24.5
穀物	18	0	0.0	△ 100.0	フェルト、不織布および特殊糸	2	3	1.0	50.6
合計（その他含む）	272	448	100.0	64.7	合計（その他含む）	300	297	100.0	△ 0.9

〔出所〕ルーマニア国家統計局

## ■新型コロナの影響により日系企業の投資は低調

日系企業による2020年の投資事例としては、NTT データが2020年9月にブラショフにオフィスを設置した。しかし、新型コロナの影響により、全般的に2020年は日系企業による新規投資は低調だった。一方、2021年に入って日系企業がかかわるインフラプロジェクトで動きがあった。丸紅が2019年に完全子会社化したポルトガルの水道事業会社である AGS が2021年1月、コンスタンツァ市の水道事業者から無収水（配水管からの漏水や違法な使用による盗水など）改善プロジェクトを受注したと発表した。2025年まで調査を継続する予定だ。また、IHI インフラシステムは2018年1月に政府と調印したドナウ川下流ブレイラ県の吊り橋建設を進めている。吊り橋のメインスパン（中央径間）は1,120メートルで、EU域内で3位の長さを誇る。2021年8月26日には吊り橋のキャットウォーク（メインケーブルを架設するための空中作業足場）の完成披露式典が開かれた。2022年内に完成予定だ。

なお、政府は2021年4月、公共調達規則を改定し、入札やサービスのコンセッションでEU域外の事業者からのアクセスを制限したが、日本企業は制限の対象ではない。

## 主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：2,214万人（2020年）			
②面積：23万8,397km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1万2,797米ドル（2020年）			
④実質GDP成長率（%）	4.5	4.1	△3.9
⑤消費者物価上昇率（%）	4.6	3.8	2.6
⑥失業率（%）	4.2	3.9	5.0
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△14,805	△17,424	△18,795
⑧経常収支（100万ユーロ）	△8,960	△10,480	△10,983
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	37,856	36,931	45,889
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	67,219	72,740	91,276
⑪為替レート（1米ドルにつき、 レイ、期中平均）	3.94	4.24	4.24

〔注〕①：在外ルーマニア人を含む、⑤：年平均、⑦：国際収支ベース（財のみ）、⑨：金を除く  
〔出所〕①②④⑤⑥：ルーマニア国家統計局、⑦⑧⑩：ルーマニア国立銀行、③⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp